

県自動車税事務所

自主納税で『明るい郷土づくり』にご協力を



オンラインシステム化を図り、サービス向上に努力

県自動車税事務所は、熊本市内中央部の県熊飽総合庁舎内に設置され、昭和四十九年度の機構改革に伴い、従前の県税事務所から「自動車税事務所」に改称されました。

主要業務は、その名称からもわかりやすいように、県税のなかでも自動車税と、自動車取得税という、いわば自動車に関する税金を専門に取扱っている税務機関です。

ご承知のとおり、自動車は現在では、私どもの生活面での利便に欠かせないものとなっております。本県の場合、台数も最近十年間で五倍強の四十万台に達しようとしております。勢い、交通問題、燃料問題、排気ガス問題等々、社会経済面での弊害も派生し、これらの対応策を求める行政需要も、日増に昂まるばかりで、特に道路・交通施設の建設整備費だけでも莫大な額を要するわけでありませぬ。

そのための目的財源でもある自動車取得税約三十億円余と、同じく一般財源とされる自動車税約八十億円、計約百十億円が、本年度の当事務所関係の税収見込額で、これは県税総収入額の五分の一強に当たっています。

現在、所員三十一名で、収税・課税の二課制をとっていますが、別に陸運事務所構内分室で、自動車税の申告受付業務

を若干の嘱託員が、また熊飽地区以外の滞納分の整理事務には、各県事務所税務課の職員が、それぞれ当たっています。幸い、納税実績も年々順調な成果を上げていますが、これもひとえに日頃の納税者の皆様方並びに、関係各方面のご協力によるものと、心から感謝申し上げます。

なお、年々自動車が増えるにつれ、増大する事務量を処理するため、昭和四十一年度から電子計算機を導入し、対応してきたわけですが、五十二年度から更に電算機のオンラインシステム化を図り、多少でも納税者の皆様への、サービス向上に役立てたいと、計画を進めています。今後とも何分のご支援をお願いいたします。

自動車税についての

お問い合わせは

○県自動車税事務所

熊本市南千反畑町四番三三三号
熊飽総合庁舎内

電話(〇九六三)五二一四一一(代)

○各県事務所税務課

弾き崩したピアノ

私は八代市植柳上町の出身なんですよ。元文部大臣でした坂田さんの近所です。球磨川のほとりだったものですからね。よく魚釣りに行ったりしていましたよ。

確か小学校六年生の時が終戦でしたね。小学校五、六年の頃は、ほとんど授業がなくて、勤労奉仕で種を刈ったりしていました。

だからその頃の音楽というものは敵国のものだということにられる時代でしたからね。音楽といえば軍歌と昔の歌謡曲、古賀メロディですよ。

私が子供の頃、音楽が好きで好きでしようがなかった思い出があります。

それは戦時中に富山軍楽隊が八代に来ましてね。その時、生まれて初めていろんな楽器を見たんです。八代ではそんなに楽器を見るチャンスはありませんからね。それでとてもうれしくて、楽器の前から離れられなかったんです。そして私だけは何となく覚えてしまった。後で引率の先生にひどくしかられた思い出があります。やはり小さい時から音楽にひかれていたんでしょうね。

それから旧制の八代中学にはいったんですが、学制改革で男女共学になりました。この時、八代高等学校からグラウンドピアノが二台「嫁入り」してきたん



このコーナーは県出身者で各界で活躍しておられる方々を紹介するとともに、県政への提言などをお聞きするものです。

仕事には精魂を

日本アレンジャー協会

理事 森岡賢一郎さん

子供の頃から音楽にあこがれ、その才能を芸術に生かし、ピアノスト、作曲家・編曲家として音楽界に大きく貢献している森岡さんは「何事も常に頂点をめざして自分に与えられた仕事には精魂をかたむけ、一〇〇%こたえる気持ちが大切ですね」といふ。

この道一筋二十年の歳月に取組む意欲は旺盛。応接間には、ピアノ、レコード、五線紙、レコード大賞のトロフィ、カップ等できっしりうずまっていた。

現在、日本アレンジャー協会理事、日本作曲家協会会員。八代市植柳上町出身。昭和九年三月四日生れ。県立八代高校卒業。武蔵野音楽大学中退。その後団伊玖磨氏に作曲を師事。現住所、東京都新宿区余丁町一〇五一―一八